

話題別文型リストによる実質語指導

Vocabulary Instruction Using a List of Sentence Patterns for Topics

田 尻 由美子・橋 本 直 幸

Tajiri Yumiko

Hashimoto Naoyuki

Abstract

In this paper, we propose the list of sentence patterns and vocabulary to raise the level of proficiency. To raise the level of proficiency, learners need to get ability to do various language activities. And that means, learners need to get ability to speak, read, listen, and read about various topics. So when we study how to raise the level of proficiency, it is very important to investigate which sentence patterns and words are required to do language activities in Japanese.

There are enough studies on Japanese grammar, however, not enough on vocabulary except the learning strategies and semantic word analysis. Besides, there are very few vocabulary lists for Japanese education, compare to English. The most famous one is the list from *The Content Specifications of Japanese-Language Proficiency Test*, but the list is not helpful enough. Since the 8000 words are just arranged according to the Japanese syllabary. With that list, we could hardly know which words are needed to do language activities, to speak about “child care” for example. It is not enough to just memorize the words from A to Z when you speak about some topic. It is very important and necessary to connect both the sentence patterns and vocabulary with language activities.

Thus, in our list, we adopted 100 topics from 16 fields from the study by Hashimoto 2008, and arranged 5 sentence patterns with appropriate words examples for every 16topics from each fields.

With this list, teachers and learners can easily know not only sentence patterns but also words which are required to do language activities in some topic.

1. はじめに

本稿は、日本語学習者のプロフィシエンシー向上のための語彙指導について考えるものである。「プロフィシエンシー」という概念が日本語教育において広く知られるようになったのは、Oral Proficiency Interview（以下、OPI）に拠るところが大きい。とくに、ここ数年、『プロフィシエンシーを育てる』（2008年、凡人社）、『プロフィシエンシーと日本語教育』（2009年、ひつじ書房）、『プロフィシエンシーから見た日本語教育文法』（2009年、ひつじ書房）などの刊行により、プロフィシエンシーの概念が日本語教育に浸透してきていると言える。

OPIは、「総合的タスク／機能」「場面・話題」「テキストの型」「正確さ」の4つの要素から成り立っているが、「プロフィシエンシー・テスト」であるOPIで最も重視されるのは、「日本語を使って何ができるか」という「総合的タスク／機能」の部分である。とは言え、実際に具体的な文や談話を構成するのは、いわゆる「文法」や「語彙」といった言語形式であるというのも事実であり、また、教室で指導されるもの、学習者が学びたいものもこれら言語形式である。つまり、プロフィシエンシー重視の言語教育とは、単に学習者が必要とする言語活動、タスク、能力をリストアップすることではなく、これらを言語形式と結び付けることであると考えることができる。

本稿では、この言語形式のうち、「語彙」に焦点を当て、これまであまり考えられて来なかったプロフィシエンシー向上のための語彙指導について考えてみることにしたい。なお、「語彙」は、「語の集まり」という意味であるが、ここでは、日本語教育で一般に言われているとおり「実質語（内容語）」に限定して考える。

2. 話題別語彙リストの提案

では、プロフィシエンシー向上のための語彙教育・語彙指導とはどのようなものであろうか。機能語や構文・文型といったいわゆる「文法」は、これまで多くの研究の蓄積があり、最近では、従来指導されてきた文法項目を見直すという動きまで起きている。それに対し、「語彙」は、語彙学習ストラテジーの研究や、個別の語、語群の意味分析などが中心で、「語の集まり」としての語彙教育研究はあまりない¹。語彙教育で最も重要な課題の一つに学習語彙表の作成が挙げられるが、これも英語教育などに比べて立ち遅れているのが現状である。現在の日本語教育で最も広く知られている語彙表として『日本語能力試験出題基準』（以下、『出題基準』）の語彙表がある。ただ、

¹ 日本語教育における語彙習得研究を概観したものとして、谷内（2002）、山内（2004）などがある。

話題別文型リストによる実質語指導

この語彙表は収録語8,000語が五十音順に配列されているもので、学習者の言語活動とは結びついていない。これに対し、橋本（2008）は、『出題基準』の語彙表と学習者の言語活動を結び付けるために、16分野100の話題を設定し、『出題基準』の収録語8,000語を著者の主観によって、その語が使われる可能性の高い「話題」に分類をしている。表1は橋本（2008）で提案された話題一覧である。

学習者の言語活動を構成する要素としては、一般に「場面」と「話題」という二つが考えられるが、ここでは、語彙を「話題」と結び付けている。「話題」と「語彙」は、直感的にも非常に相性が良い。「スポーツ」という話題の話をする場合、当然、スポーツに関係ある語が多く使われるだろうと考えられるし、「病気」という話題の話をする場合は、病気、人体、医療などに関係ある語が使用されることが予想される。話題が語彙によって支えられていることを明示的に示したのは、南（1972）である。南は、

表1 話題一覧（橋本2008）

1. 文化	3.2 友達	6.2 祭り	12. 政治
1.1 文化一般	3.3 性格	7. メディア	12.1 政治
1.2 食	3.4 相手への感情	7.1 メディア	12.2 法律
1.3 酒	3.5 容姿	7.2 芸能界	12.3 社会運動
1.4 ファッション	3.6 人づきあい	8. 通信・コンピューター	12.4 選挙
1.5 旅行	3.7 喧嘩・トラブル	8.1 通信	12.5 外交
1.6 スポーツ	3.8 マナー・習慣	8.2 コンピューター	12.6 戦争
1.7 建築	4. 教育・学問	9. 経済・消費	12.7 会議
1.8 言葉	4.1 学校(小中高)	9.1 買い物・家計	13. ヒト・生き物
1.9 文芸・出版	4.2 学校(大学)	9.2 労働	13.1 人体
1.10 季節・行事	4.3 成績	9.3 就職活動	13.2 医療
2. 人生・生活	4.4 習い事	9.4 ビジネス	13.3 美容・健康
2.1 町	4.5 試験	9.5 株	13.4 動物
2.2 ふるさと	4.6 調査・研究	9.6 経済・財政・金融	13.5 植物
2.3 交通	5. 芸術・趣味	9.7 国際経済・金融	14. 自然
2.4 日常生活	5.1 音楽	9.8 税	14.1 気象
2.5 家電・機械	5.2 絵画	10. 産業	14.2 自然・地勢
2.6 家事	5.3 工芸	10.1 工業一般	14.3 災害
2.7 パーティー	5.4 写真	10.2 自動車産業	14.4 環境問題
2.8 引越し	5.5 映画・演劇	10.3 重工業	14.5 宇宙
2.9 各種手続き	5.6 芸道	10.4 軽工業・機械工業	15. サイエンス
2.10 恋愛	5.7 芸術一般	10.5 建設・土木	15.1 算数・数学
2.11 結婚	5.8 趣味一般	10.6 エネルギー	15.2 サイエンス
2.12 育児	5.9 コレクション	10.7 農林業	15.3 テクノロジー
2.13 思い出	5.10 日曜大工	10.8 水産業	16. 歴史
2.14 夢・目標	5.11 手芸	11. 社会	16.1 歴史
2.15 悩み	5.12 ギャンブル	11.1 事件・事故	抽象的関係を表す語
2.16 死	5.13 遊び・ゲーム	11.2 差別	
3. 人間関係	6. 宗教・祭り	11.3 少子高齢化	
3.1 家族	6.1 宗教	11.4 社会保障・福祉	

国立国語研究所が行った島根県松江での24時間調査の資料の分析にあたり、「談話（会話のまとめ）」が「一貫した話題」で成り立っており、さらに、その「一貫した話題」は百科辞書的類縁性を持った語の集合から成っていることを、具体例をもとに指摘している。

一方、「話題」がプロフィシエンシー向上において重要であるということは、OPIにおいても認識されている。『ACTFL-OPI 試験官養成マニュアル』には、話題と能力の関係について以下のような記述がある。

被験者が議論できる話題の数は、言語能力が高まるにつれ急速に増加する。下の方のレベルでは、話の内容は、ほとんどが被験者の経歴に関する情報や個人的な経験に密接に関係した話題に限られている。それに対して、超級話者であれば、たとえ専門的な話し方はできないにせよ、かなりの数にわたる具体的・抽象的話題について話すことができるはずである。

（『ACTFL-OPI 試験官養成マニュアル』 p.33）

つまり、学習者の能力を高めようと思えば、学習者が扱える「話題」を一つずつ増やしていく、という指導も重要である。これらの考え方にに基づき、橋本（2008）では、学習者の言語活動を構成する要素としての「話題」と、「語彙」という言語形式が密接に結びついた語彙リストを提案した。ただし、この橋本（2008）は、あくまで語彙リストであり、実際に語彙指導に使えるような形にはなっていない。

3. 話題別文型リストによる実質語指導

3.1 「語彙」と「文法」の関係

橋本（2008）の話題別語彙リストは、『出題基準』の語を話題別に分類したものであるが、これがすぐに学習者のプロフィシエンシーの向上につながるというわけではない。2節で見たとおり、プロフィシエンシーが向上するということは、学習者が扱える話題が増えるということである。すなわち、その話題について、話す・読む・聞く・書くといった言語活動ができるということである。従って、語彙リストで提示された単語を暗記するだけでなく、その語を素材として、文や談話が構成できなければ、「話題が扱える」とは言えない。そこで本稿では、「語彙」と並び、文を構成するための重要な要素である「文法」にも焦点を当て、プロフィシエンシーを向上させるための語彙指導について考えることにする。具体的には、「話題別文型リスト」を作成し、その中で実質語を指導することを考えたい。

3.2 話題別文型リストの作成

まず、橋本（2008）で設定したそれぞれの話題について、よく使用されると考えら

れる文型を挙げる。2節で述べたように「話題」を特徴づけるものは「語彙」であり、ある機能語や文型が、特定の話題において顕著に使用されるとか、特徴づけるといったようなことは考えにくい。しかし、例えば「育児」という話題について語ろうとすると、当然、「子供の動作」や「成長の過程」といった内容について話すことが多くなり、そこから「A ようになる (やっと一人でトイレに行けるようになった)」「A ないように (子供が入らないように柵を作った)」「A たがる (さわるものすべてを、口に入れたがります)」などの文型が必要であると予想される。

さらに、「A ようになる」であれば「A」には、すべて子供の行動を表す語「はいはいする」「笑う」「反抗する」「わかる」「甘える」などの実質語が挿入され、これらの語をまとめて提示することができる。

このように、話題ごとによく使われると思われる文型をリストアップしておけば、語彙についても自ずとパラダイグマティックに対立する語群をまとめて提示ことができ、語彙の教育や学習に非常に効果的であると考えられる²。

本稿では、紙幅の都合上、100の話題すべてについて挙げることはできないので、16の各分野からそれぞれ一つ的话题を取り上げ、表2 (p.48) に提示する。各話題ごとに五つの文型を挙げ、その文型に挿入されると考えられる語彙の具体例と例文各3文を示した。挙げた文型のほとんどは『日本語文型辞典』に掲載されているものであるが、一部、「A と、勝ちだ」「A によって違うが」のように、文型の中に実質語を含む、いわゆる「表現」レベルのものも表に入れている。表中の A, B, C は語彙が挿入される部分を示しており、語彙の列には具体例とともに、挙げられた語彙を括るグループ名を【 】で示した。

² 自由連想法により日本語学習者の語彙のネットワーク形成について調査した谷口他 (1994) では、初級はエピソードによるネットワーク形成が主であるのに対し、中級では意味・概念によるネットワーク形成が行なわれていることを指摘している。前者はシンタグマティックな語の連なり、後者はパラダイグマティックな語の連なりで、本稿で提案する話題別文型リストによる語群の提示も、これにあたる。

表2 話題別文型リスト

分野	話題	文型	語彙	例文
1 文化	1.6 スポーツ	1	Aと、勝ちだ Aされると、負けだ	・12点先に取ると、勝ちです。 ・土俵の外に出されると、負けです。 ・はちまきを取られると、負けです。
		2	Aと	・ボールがゴールポストに入ると、1点入ります。 ・ボールが手に当たると、反則になります。 ・どちらかが20点とると、ゲームは終わりです。
		3	Aないように	・ボールが線から出ないように、ドリブルをする。 ・相手にわからないように、サインで次のボールを指示する。
		4	Aのは、Bだ	・相手で重要なのは、強い足腰です。 ・勝負を勝つために必要なのは、逆境に負けない精神力です。 ・記録を勝つために大切なのは、トレーニングの積み重ねです。
		5	Aのが好きだ/嫌い	・パスケットボールをするのが好きです。 ・スタンドで応援するのが好きです。 ・観客が大声で騒ぐのが嫌いです。
2 人生・生活	2.12 育児	1	Aようになる	・はいはいするようになった。 ・やっと一人でトイレに行けるようになった。 ・2語文を話すようになった。
		2	Aないように	・子供が人ならないように柵を作った。 ・危ないものをさわらないように、戸棚にかぎをつけた。 ・子どもが間違っって食べないように、すぐに片付けました。
		3	Aてばかりいる	・うちの子は寝てばかりいます。 ・宿題もせずに、テレビを見てばかりいる。 ・遊んでばかりいて、勉強をしません。
		4	Aたがる	・なんでも自分でしたがりです。 ・さわるものすべてを、口に入れたがりです。 ・触ってはいけないというのと触れたがりです。
		5	AのはBだ	・泣くのはおなかがすいたサインです。 ・昼寝をするのは、安心している証拠です。 ・熱を出すのは、正常に発育している証です。
3 人間関係	3.8 マナー・習慣	1	Aものだ	・お世話になった先生には年賀状を出すものです。 ・コートは玄関を入る前に脱ぐものです。
		2	Aないように	・名前を忘れないように、メモしておきます。 ・心配させないように、行き先を言っておきましょう。 ・脱んでいる電車では、リュックが邪魔にならないように、前に持ちます。
		3	Aでは、BことはCとされている	・韓国では、目上の人の前でタバコを吸うことは失礼だとされています。 ・韓国の日本では、相手の目をして見ると話すことはあまりよくないと言われています。 ・韓国では、頭をたたくことは非常に無礼だとされています。
		4	Aによって違うが	・人によって違いますが、だいたい2メートルくらいだと思います。 ・地域によって違いますが、3000円から5000円の間にやないかと思っています。 ・パーティの種類によって違いますが、ジャケットを着ていれればいいと思います。
		5	A方がいいと思う	・何か特別なことをしてもらった場合は、チップを渡した方がいいと思います。 ・相手が頭を下げた時は、こちらも頭を下げた方がいいと思います。 ・目上の人へのメールには、絵文字は使わない方がいいと思います。

4	教育・学問	4.4	習い事	1	A (さ) せられる	A:【したくないこと】習う, 行く, 通う, 走る, 練習する, 泳ぐ, 稽古する, 正座する	・毎日走られました。 ・いやなのに, 行かされました。 ・ピアノを習わされました。
				2	A ために	A:【目的】将来, 受験, 勉強, しつけ, 教育, 実現, かなえる	・自分の夢をかなえるために, 子供を塾に行かせた。 ・将来のために, そろばんを習わせた。 ・受験勉強のために, ピアノをやめました。
				3	A に向けて	A:【披露の舞台】大会, オーディション, コンクール, 展覧会, 発表会	・大会に向けて, 体をきたえています。 ・オーディションに向けて, 毎日練習をしました。 ・展覧会に向けて, 新しい絵を描こうと思っています。
				4	A ように	A:【目標】早くなる, 上手になる, ひける, 読める, できる, 出られる	・計算が早くなるように, 公文に通いました。 ・全国大会に出られるように, みんなで毎日練習しました。 ・どんなに難しい曲でも弾けるように, 練習を欠かしませんでした。
				5	A のもとで	A:【従うもの】先生, (人名), 指導, 方針	・師匠のもとで柔道を習いました。 ・田中先生のもとで, 技を磨きました。 ・そういう方針のもとで指導を受けました。
5	芸能・趣味	5.12	ギャングブル	1	A かねない	A:【行動】使う, 落ちる, 借りる, 転落する, やめる, する, やる	・このままだと会社の金まで使いかねない。 ・家の金まで使いかねない。 ・このままのめりこむと, 仕事もやめかねない。
				2	A ずにはいられない	A:【行動】賭ける, 入る, 考える, 予想する, 予測する, 読む, 読む, 買う, する, やる	・寝ている時起きている時も馬のことを考えずにはいられない。 ・パチンコ屋を見ると入らずにはいられない。 ・馬を見るとき, どの馬が早いか予想せずにはいられない。
				3	A しようと	A:【目的】元をとる, リベンジする, もうける, 返す, 取り返す, 当てる	・元を取ろうと, お金をどんぶりつき込みました。 ・リベンジしようと, 何度もやってみました。 ・一発当ようと, 友達とカジノへ行きました。
				4	A ておけばよかつた	A:【行動】やめる, とめる, 終わる, 見る, 計算する, かける, 行く, する, やる, 続ける	・あそこでおめておけばよかつた。 ・もう少し掛けておけばよかつた。 ・先にきちんと計算しておけばよかつた。
				5	A てしまったばかりに, また B してしまう	A:【意図しない行動】儲かる, 勝つ, 行く, 見る, B:【その結果の行動】見る, 思う, 行く, 賭ける, つきこむ	・一度儲かってしまったばかりに, また夢を見てしまう。 ・一度勝ってしまったばかりに, また勝てると思ってしまう。 ・仲間に会ってしまったばかりに, また競馬場へ行ってしまった。
6	宗教・祭り	6.1	宗教	1	A は B とされている	A:【宗教上意味のあるもの】少女, 少年, 徴, 水, 手, 杯, B:【宗教上の意味】不浄, 生まれ変わり, 化身, 聖なるもの	・左手は不浄だとされています。 ・その少女は, 神の生まれ変わりだとされています。 ・湖の水は聖なるものだとされています。 ・女性は髪を見せはけません。 ・偶像を作ってははいけません。 ・神殿に勝手に入ってははいけません。
				2	A てはいけない	A:【行為】食べる, 飲む, 触る, 見る, 入る, 作る, 踏む, 崇める	・神は絶対の神として崇めなければなりません。 ・神殿に入る前には, 手と足を洗わなければなりません。 ・教えに従わなければなりません。
				3	A なければならぬ	A:【行為】崇める, 信じる, 従う, 洗う, 通う, 読む	・神を信じれば, 救われます。 ・念仏を唱えれば, 煩悩浄土へ行けると信じています。 ・その煙を頭につければ, 頭が良くなると信じています。
				4	A ば	A:【必要な条件】唱える, 願う, 信じる, 通う, 祈る, 崇める, つける, 読む	・キツネは神の化身だと考えられています。 ・その日の夜, 神様がこの通を通つて神社へ帰ると考えられています。 ・お盆には先祖の魂が帰ってくると思われています。
				5	「文」と考えられている	——	・TOKIOよりSMA Pのほうがいいか? 面白い。 ・あの女優よりこの女優の方がきれいだ。 ・その役者より彼のほうがいいと思う。
7	メディア	7.2	芸能界	1	A より B (の方) が C	A, B:【人】歌手, 俳優, 女優, 役者, (人名)(グループ名) C:【評価】おもしろい, きれいだ, 美人だ, ハンサムだ, 音痴だ, いい, 歌が上手だ, うまい/下手だ	

2	AがいちばんB	A：【人】歌手、俳優、女優、役者、(人名) (グループ名) B：【評価】おもしろい、きれいだ、美人、ハンサムだ、音痴だ、歌がうまい/下手、演技が上手だ	・木村拓哉がいちばんハンサムだ。 ・オドリがいちばんおもしろい。 ・春日がいちばん人気者だ。 ・山口百恵が復帰するらしい。 ・あの二人は別居中らしい。 ・S.M.A.Pが今度新曲を出すらしい。
3	「文」らしい	——	
4	AでBになった	A：【きっかけ】オーディション、大会、番組、芝居、映画、コマージュナル、コーナー、演技 B：【有名・人気者】俳優、女優、歌手、タレント、芸人、トップアイドル、有名な、人気者、有名	・そのドラマでトップアイドルになった。 ・チヨコレートのコマージュナルで有名になった。 ・オーディションでタレントになった。
5	AをBされた	A：【聴きたいこと】秘密、交際、噂、密会、デート、浮気 B：【公衆】暴露する、スクープする、報道する、撮る、流す	・そのアイドルは、女優との交際をスクープされた。 ・俳優との密会を盗撮された。 ・秘密を暴露されて大変なことになった。
1	Aには	A：【操作】並べ替える、消す、消去する、扱う、処理する、作成する、編集する、保存する、プリントする、うつす	・データを並べ替えるには、まずフィルターを設定する必要があります。 ・コンピュータで作曲をするには、専用のソフトを買わなければなりません。 ・50万以上のデータを扱うには、SQLを使った方がいいかもしれません。
2	Aのに	A：【操作】作る、計算する、作成する、編集する、処理する、保存する	・エクセルは、簡単な計算をするのに便利です。 ・ワードは、文書を作成するのに使われます。 ・MACは音楽を作ったり編集したりするのに強いです。
3	Aに向く	A：【操作】作成、計算、編集、音楽、ゲーム 【使用目的】ビジネス、処理、保存	・MACはイラストの編集に向いています。 ・エクセルは表の処理などに向いています。 ・このパソコンはバッテリーがもつので、ビジネスに向いています。
4	Aてしまう	A：【望まない動作・結果】壊れる、故障する、固まる、感染する、削除する、消去する、消す	・どうやら故障してしまつたようだ。 ・間違つて、データを消してしまいました。 ・うっかり送信してしまつた。
5	Aと、BがC	A：【操作】クリックする、選択する、操作する、押す、入れる B：【パソコンソフト/パソコン、メニュー、ソフト、画面、装備】 C：【動作】起動する、開く、出る、落ちる、表示される、閉じる	・「シャットダウン」を選択すると、電源が落ちます。 ・スペースを押すと、変換の候補が表示されます。 ・電源ボタンを入れると、パソコンが起動します。
1	Aなければならぬ	A：【払う】納める、払う、支払う、納入する、申告する、出す	・所得の10%を納めなければならぬ。 ・何か買った物をした時は、5%を消費税として払わなければならない。 ・財産を相続した時は、税務署に申告しなければならない。
2	Aに対し(て)	A：【対象】子ども、老人、低所得者、弱者、金持ち、店、食料品、ぜいたく品	・買ったものに対して ・ぜいたく品に対して ・低所得者に対して
3	A当たり	A：【数量】～人、～軒、～家族	・3人あたり ・10軒あたり ・1家族あたり
4	Aことになっている	A：【払う】おさめる、はらう、支払う、納入する、出す、負担する	・収入がある人はみな、税金を納めることになっています。 ・住民税は、毎月払うことになっています。 ・給与から市民税・県民税相当分を天引きして納入することになっています。
5	Aをのぞいて/のぞき	A：【対象】子ども、老人、弱者、金持ち、店、品、食料品、ぜいたく品	・15歳以下の子供のぞいて、すべての大人の義務とされている。 ・一部の店をのぞいて、ほとんどの店で消費税を価格に追加した。 ・一部の生活必需品をのぞいて、すべての食料品に税が課されている。
1	AはBが有名だ	A：【場所】(地域) (港名) B：【名物】(魚名、捕鯨、養殖、釣り、～漁	・埼玉は松葉カニが有名だ。 ・大間はマグロの一本釣り有名だ。 ・大分は関サバが有名だ。
2	Aに悩まされている	A：【原因】減少、上昇、発生、高騰、不足、値上がり	・越前クラゲの大量発生に悩まされている。 ・後継者不足に悩まされている。 ・漁獲量の減少に悩まされている。
8	通信・コンピューター	8.2	8.2
9	経済・消費	9.8	9.8
10	産業	10.8	10.8

11	社会	11.1	事件・事故	3	AによってBされる ルール	A:【決まりごと】協定, 条約, 規定, 法規, 法律, 法, 取り決め, ルール B:【保護・規制】保護する, 規制する, 守る, 止める, 禁止する	<ul style="list-style-type: none"> 協定によって規制されている。 条約によって保護されています。 天然記念物を釣ることは、法律によって禁止されています。
				4	Aには、BやCがある	A:【説明したいもの】魚, 漁, 海流, 港製品, 種類 B, C:【魚】<魚の名前><製品の種類><魚の種類>	<ul style="list-style-type: none"> 漁には、遠洋漁業や沖合漁業などがある。 ここでとれる魚には、まぐろやさんまなどがある。 自給率が高い魚には、さんまやまぶらなどがある。
				5	Aとして	A:【場所】町, 地域, ポイント, 地点, ところ, 漁場, 本場	<ul style="list-style-type: none"> 日本有数の漁獲量を誇る町として栄えた。 暖流と寒流が交わる絶好の漁場として知られている。 かきの本場として知られるところとなった。
				1	Aをめぐって	A:【問題の所在】金, 借金, 女, 男, 騒音, 音	<ul style="list-style-type: none"> 女をめぐって、トランプがあった。 借金をめぐって、口論となった。 そのけんかは、最初は生活音をめぐってはじまったそうだ。
12	政治	12.6	戦争	2	Aようとしたところ	A:【運転操作】曲がる, 右折する, 左折する, 止まる, 止める, 停止する, 渡る, 発進する, 出る, 入る	<ul style="list-style-type: none"> 車が右折しようとしたところに、内側からバイクが突っ込んできた。 駐車場から道へ出ようとしたときに、人が飛び出してきた。 横断歩道を渡るうとしたところで、後方からぶつかられた。
				3	Aてしまう	A:【意図しない行為】眠る, 居眠りする, 取る, 見る, なくす, 落とす, 訴えられる, ぶつける, 酔う, 酔う, 無視する	<ul style="list-style-type: none"> 知らない間に、携帯電話をとられてしまった。 男が財布を抜き取るのを見とりました。 居眠りしてしまっって、事故になりました。
				4	「文」そうだ	——	<ul style="list-style-type: none"> 犯人はすぐに捕まったそうだ。 捜査はまだ続けれられているそうだ。 被害者は胸を刺されたところだ。
				5	もう少し/ちよつとでAとところだった	A:【望まない動き】ぶつかる, ぶつかる, ひく, ひかれる, 殴る, 殴られる, 刺す, 刺される	<ul style="list-style-type: none"> もうちょっとで車にひかれるところだった。 もうちょっとでぶつかるところだった。 もう少しで刺されるところだった。
13	ヒト・生き物	13.3	美容・健康	1	Aのために	A:【原因】ある, 起こる, 不足する, 続ける, 主張する, 対立する	<ul style="list-style-type: none"> その地域はもとも民族的対立があったために、武力衝突へと発展していった。 鉄が不足したために、家庭のものまで供出させられた。 戦争を続けたために、被害が拡大していったのです。
				2	Aをめぐって	A:【問題の所在】領土, 国境, 境界線, 権利, 開発	<ul style="list-style-type: none"> 湾岸地域の覇権をめぐって、戦いが激化していききました。 その戦争は、インド洋での貿易をめぐって勃発しました。
				3	Aていく	A:【変化・進展】変化, 変わる, 激化, おさまる, 突き進む, 進む	<ul style="list-style-type: none"> 油田の開発をめぐって、関係が悪化していききました。 戦争へと突き進んでいききました。 戦闘は激化していききました。 無法地帯へと変わっていった。
				4	Aに反して	A:【気持ち】意志, 期待, 気持ち, 願い, 意見	<ul style="list-style-type: none"> 各国の期待に反して 世界中からの声に反して 国民の願いに反して
13	ヒト・生き物	13.3	美容・健康	5	Aを余儀なくされる	A:【望まないこと】終了, 撤退, 後退, 中止, 縮小, 帰国, 閉鎖	<ul style="list-style-type: none"> シベリアからの撤退を余儀なくされました。 戦争が始まったために、商人たちは帰国を余儀なくされました。 関係の悪化で、施設は閉鎖を余儀なくされました。
				1	Aために、Bている	A:【望むこと】鍛える, 減らす, 落とす, 強くなる, 縮くする, きれいになる B:【行動】使う, 減らす, 歩く, 走る, 食べる, 動かす, 飲む	<ul style="list-style-type: none"> 脚を鍛えるために、階段を使っています。 脂肪を落とすために、マッサージをしています。 体重を減らすために、食べる量を減らしています。
				2	Aないように	A:【望まない変化】増える, 太る, 弱る, なる	<ul style="list-style-type: none"> これ以上体重が増えないように、ウォーキングを始めました。 足腰が弱らないように、毎日少しずつ運動しています。 ビタミン不足にならないように、野菜を食べるようにしています。
3	Aすぎるのはよくない	A:【行動】運動する, 動かす, 動く, 食べる, 飲む, 使う, こする, とる	<ul style="list-style-type: none"> 運動しすぎるのは良くない。 健康にいいからといって、同じ食品ばかり食べすぎるのはよくない。 菌をあまり磨きすぎるのはよくありません。 				

14	自然	14.3	災害	<p>4 Aかねない</p> <p>5 Aにいいと言われている</p> <p>1 Aに(も)のぼる</p> <p>2 Aておく</p> <p>3 Aによって</p> <p>4 Aを与える</p> <p>5 Aのがやとどだ</p>	<p>A:【部位・症状】傷める, 崩す, なる, 逆効果になる, 悪くする, 倒れる</p> <p>A:【部位・症状・改善】脳, 足, 腰, 体質/風邪, 病氣, 冷え/改善, 活性化, 強化, 維持</p> <p>A:【災害の原因】~人, ~軒, ~円, ~平方メートル</p> <p>A:【準備】準備する, 用意する, 確認する, 確保する, 入る, 入れる, チェックする, とめる, 固定する</p> <p>A:【災害の原因】台風, 地震, 風, 波, 寒さ, 暑さ, 干ばつ</p> <p>A:【損失】被害, 影響, 損害, 損失</p> <p>A:【最低限の行動】持ち出す, 助け(出す), 息をする, 考える, 出る, 立っている, つかまえる</p> <p>A:【物質の動き】融合する, 結合する, 燃焼する, 分解する, 酸化する, 膨張する</p> <p>A:【A・G・ルー】(人名), グループ/チーム, 研究者, 科学者, 教授</p> <p>B:【発見】発見, 証明, 見つける, 解明, 確認, 発明, 作る, 改良, 開発</p>	<p>間違っただ手入れば逆効果になりかねない。 ・そんなことをしては、腰を傷めかねない。 ・いつか倒れかねない。</p> <p>・お茶に含まれるカテキンが、脳の活性化にいいと言われています。 ・ウォーキングは、心臓機能の強化にいいと言われています。 ・生妻は冷えにいいと言われています。</p> <p>・被害総額は4兆円にものぼりました。 ・家も失った人は、120人にものぼりました。 ・倒れたり壊れたりした家は、3000軒にものぼります。</p> <p>・水や食べ物等を家に準備しておく。 ・保険に入っておく。 ・逃げるための場所を確認しておく。</p> <p>・台風19号によって、農作物が大変な被害を受けた。 ・1週間以上続いた雨によって、土砂災害が起きました。 ・その年の干ばつによって、大変な食糧難が起こった。</p> <p>・基本的な被害を与えませんでした。 ・大きな影響を与えました。 ・大きな損害を与えました。</p> <p>・自分だけ逃げだすのがやとどだった。 ・息をするのがやとどだった。 ・ものすごい地震で、立っているのがやとどだった。</p> <p>・2つの物質が融合することによって、エネルギーが生まれます。 ・ものが燃焼することによって二酸化炭素が発生します。 ・それらを分離することによって、取り出すことができます。</p> <p>・ラジウムはキュリー夫人によって発見された。 ・異常を引き起こす原因がその研究チームによって解明されました。 ・その結果については、複数の科学者によって確認されています。 ・今、その物質はほとんどつかないと考えられています。 ・その説は、正しいのではないかと考えられています。 ・ヒトはアフリカ大陸で誕生したと考えられています。</p> <p>・酸化させることによって、その物質を取り出すことができます。 ・燃焼させると、CO₂が発生します。</p> <p>・それまで、分子より小さな物質はないと考えられてきました。 ・彼が証明するまで、誰にも証明できないうと考えられてきました。 ・冥王星は、長い間太陽系の9つ目の惑星と考えられてきました。</p> <p>・家光は3代将軍として生まれました。 ・常義は頼朝の弟として生まれました。 ・祖父は、昭和3年に10人兄弟の末っ子として生まれました。</p> <p>・1200年から1500年にかけて ・明治から大正にかけて ・関東から東北にかけて</p> <p>・家臣の反乱によって、王国は急激に没落していききました。 ・ハプスブルク家は、政略結婚によって栄えました。 ・湖畔地方の貴族は、塩の売買によって繁栄していききました。</p> <p>・300年にわたって、その地方を支配しました。 ・190日にわたって、激しい攻防がありました。 ・30時間にもわたって話し合いがもたれたのです。</p> <p>・勢力が拡大していききました。 ・徳川家は富を蓄えていききました。 ・町人文化も変化していききました。</p>
15	サイエンス	15.2	サイエンス	<p>1 Aことよって</p> <p>2 AによつてBされる</p> <p>3 「文」と考えられている</p> <p>4 Aさせる</p> <p>5 「文」と考えられてきた</p>		
16	歴史	16.1	歴史	<p>1 Aとして生まれました。</p> <p>2 AからBにかけて</p> <p>3 AによってB</p> <p>4 Aにわたつて</p> <p>5 Aていく</p>		

4. まとめ

作成された表を見てみると、例えば上で挙げた「A ないように」という文型は「育児」という話題のみならず、「美容・健康」などでも挙げられている。しかし A に挿入される語彙を見てみると、「育児」では「はいはいする」「笑う」「反抗する」「わかる」「甘える」など子供の行動を表す語だったのに対し、「美容・健康」という話題では「増える」「太る」「弱る」「痛める」など、望まない変化を表す語が挙げられている。またその他にも、「A をめぐって」という文型では、「事件・事故」の話題では「金」「借金」「女」「騒音」などの語彙が考えられるが、「戦争」という話題では「領土」「国境」「権利」「開発」となるなど、同じ「問題の所在を表す」語彙グループでも、まったく異なった構成になっている。

このように、同じ文型でも、話題によって語彙は全く異なってくる。2, 3 節での主張の繰り返しになるが、例えば「A ないように」という文型を学習したからといって、「育児」や「美容・健康」などの話題を扱えるようにはならない。また語彙だけでも不十分である。ある話題が扱えるようになるためには文型と語彙の両方が必要であり、その指導のために、表 2 のようなリストが有効となると考えられる。

なお、今回のリストは、筆者らの主観によって作成している。より有効で適切なりストを作成するためには、大規模コーパスなどを用いて、より客観的に文型や語彙を抽出していく必要があると考えられるが、それは今後の課題としたい。

参考文献

- グループ・ジャマシイ（編著）（1998）『日本語文型辞典』くろしお出版
- 谷口すみ子・赤堀侃司・任都栗新・杉村和枝（1994）「日本語学習者の語彙習得—語彙のネットワークの形成過程—」『日本語教育』84, pp.78-91, 日本語教育学会。
- 橋本直幸（2008）「話題別分類語彙表作成の試み」山内博之（編）『日本語教育スタンダード試案 語彙』pp.9-92, ひつじ書房。
- 橋本直幸・山内博之（2008）「日本語教育のための語彙リストの作成」『日本語学』27-10, pp.50-58, 明治書院。
- 牧野成一（監）、日本語 OPI 研究会（1999）『ACTFL-OPI 試験官養成マニュアル（1999 年改訂版）』
- 南不二男（1972）「日常会話の構造 —とくにその単位について—」『月刊言語』1-2, pp.108-115, 大修館書店。
- 谷内美智子（2002）「第二言語としての語彙習得研究の概観—学習形態・方略の観点から—」『第二言語習得・教育の最前線—あすの日本語教育への道しるべ—』

田 尻 由美子・橋 本 直 幸

pp.155-169, 日本言語文化学会.

山内博之 (2004) 「語彙習得研究の方法 — 茶釜と N グラム 統計」『第二言語としての日本語の習得研究』7, pp.141-162, 第二言語習得研究会.